

Journal

ジャーナル
vol.26

2019 February ▶ April

26

特集

留学のスズメー グローバルな人材育成のための日法の取り組み

2019 February ▶ April



特集 留学のスズメ

短期語学研修、派遣交換留学
法学部の外国語プログラム

Interview

法学部OB・OGの
留学体験談



日本大学法学部 Event Schedule

2月~4月

	就職指導課	エクステンションセンター	教務課 研究事務課	学生課 図書館事務課	庶務課 入学センター
2 February	2月 4日(月)	第3回総合就職ガイダンス 面接実践講座		2月 8日(金)	4年次生成績発表 ※WEBにて発表。
	2月 5日(火)	内定者相談会		2月 8日(金)・ 9日(土)	4年次生再試験手続き
	2月 9日(土)	法学部就活セミナー(校友会共催)		2月 9日(土)	定期無料法律相談
	2月12日(火)・ 14日(木)	筆記試験対策直前講座		2月20日(水)~ 22日(金)	追試験(1~4年次生)・再試験(4年次生)
	2月12日(火)~ 15日(金)	業界別個人模擬面接 就職証明写真撮影会 SPI3体験会		2月26日(火)~ 3月12日(火)	法学部ヨーロッパ研修旅行
	2月13日(水)・ 15日(金)	グループディスカッション講座[3年]			
	2月25日(月)~ 3月15日(金)	企業研究セミナー[3年]			
3 March	3月 5日(火)	合同企業研究会・就職セミナー(全学部合同)[3年]		3月 7日(木)	1~3年次生成績発表、追・再試験成績発表 ※WEBにて発表。
	3月 9日(土)・ 16日(土)	合同企業研究セミナー[3年]		3月 9日(土)	付属高等学校等1・2年生対象 オープンキャンパス
				3月12日(火)	平成31年度転部(第一部・第二部間)・転科 選考合格発表
				3月13日(水)	学内学生会・研究所合同研究会
			3月25日(月)	日本大学卒業式・学位記伝達 卒業記念祝賀会	
4 April	4月上旬	キャリアプランガイダンス		4月 1日(月)~ 6日(土)	開講式・新入生ガイダンス
	4月中旬	課外講座説明会 (公務員講座、教員講座、法律分野講座、 会計分野講座、就職対策講座)		4月 2日(火)・ 3日(水)	日本学生支援機構奨学金予約採用者説明会 ※高校で手続きをしておき、決定通知を発行されている者。
	4月下旬	公務員業務説明会		4月 3日(水)	新入生歓迎会 サークル新入部員募集
				4月 3日(水)~ 6日(土)	学生定期健康診断 ※全学生が必ず受診すること。
			4月 8日(月)	入学式(日本武道館)	
			4月 9日(火)	平成31年度前学期授業開始	
			4月上旬	図書館7階ラーニング・commons東側フロア拡張	
			4月16日(火)~ 20日(土)	履修登録期間(前学期開講科目及び通年開講科目)	
			4月中旬	日本学生支援機構奨学金在学採用者説明会 ※大学入学後に初めて手続きをする者。 図書館オリエンテーション 学生研究室説明会 (司法科研究室、司法書士科研究室、 弁理士科研究室、税理士科研究室、 行政科研究室、公認会計士科研究室)	

※ 就職指導課の各種イベント案内、追加については就職指導課、ポータルサイトで行います。

各行事についての詳細は、各担当課にお問い合わせください。

就職指導課(10号館2階) エクステンションセンター(10号館2階)

教務課(本館1階) 学生課(本館1階) 庶務課(本館1階)

研究事務課(5号館1階、司法科研究室事務室は5号館2階)

図書館事務課(法学部図書館1階) 入学センター(本館2階)

Information

3月25日(月) 日本大学卒業式・学位記伝達、卒業記念祝賀会

卒業式(日本武道館)、学位記伝達(神田三崎町キャンパス)の終了後、法学部の卒業記念祝賀会(法学部校友会共催)をホテルグランドパレスにて盛大に行います。学生生活の締めくくりにぜひ御参加ください。

■卒業記念祝賀会は事前申込制。本館事務局内証明書自動発行機にて申込み。会費2千円。問い合わせ: 法学部庶務課03-5275-8501



日本大学法学部がわかるマガジン

Journal
vol.26 2019 February ▶ April

<http://www.law.nihon-u.ac.jp/>

本誌「日本大学法学部ジャーナル」のバックナンバーは、法学部ホームページにてご覧いただけます。
<http://www.law.nihon-u.ac.jp/publication/pr.html>

2019年1月31日発行 日本大学法学部広報 通巻134号 発行: 日本大学法学部企画・広報委員会

詳細情報は、随時掲示板およびホームページで確認してください。

特集 留学のスズメ

— グローバルな人材育成のための日法の取り組み —

法学部では学生の国際感覚や外国語修得の必要性を古くから認識し、社会のグローバル化に対応できる人材の育成に力を注いできました。今号では派遣交換留学、短期語学研修、それを支える外国語教育、さらに留学経験を活かして社会で活躍するOB・OGを紹介し、「外国語に強い」法学部の最新情報をお伝えします。



国際交流委員会委員長 坂本力也 教授

Profile

経営法学科教授。担当授業は、外国法(英米)、国際民事紛争処理法、自主創造の基礎、ゼミナール。1991年日本大学法学部法律学科卒業。1995年チュレーンロースクール修了(アメリカ・ルイジアナ州)。法学修士(LL.M.)、比較法学修士(M.C.L.)。ニューヨークで弁護士として活動後、2003年より現職。ニューヨーク州弁護士(アメリカ)、外国法事務弁護士(日本)、英国仲裁人協会上級仲裁人(FCIArb)

国際交流委員会は世界の主要大学と学術交流協定を締結し、学生の派遣交換留学、短期語学研修等の国際交流を積極的に進めています。その新たな取り組みを、ご自身もニューヨークで弁護士として活躍された坂本力也国際交流委員長に伺いました。

多様性のある留学形態の提供を目指して 留学先の新規開拓も積極的に行う

国際交流委員会では、昨年からの法学部生の留学先の新規開拓を積極的に行っています。委員の先生方は留学経験や海外の教育機関と交流のある方が多く、小田学部長が国際交流を大事にしていこうというお考えでもありますので、より多様性のある留学形態の提供を目指して取り組んでいます。教員自ら実働部隊として動くのは時間的にもなかなか大変ですが、学生の安全を第一に、現地に出向き、留学環境もきちんとチェックして、学生のためになるという視点で新規開拓をしています。

現在は、法学部からアメリカのロースクールへの進学を希望する学生に向けて、現地のロースクールで約2週間にわたり集中してアメリカの法律の基礎知識を英語で学ぶことができるサマースクールの実施を計画しており、実現に向けて動いています。

また、各国大使館の大使を招いての講演会も開催し、外国から見た日本を知る機会を作っています。昨秋も駐日オーストリア大使による特別講演を開催し、大盛況でした。

国際交流センターでの留学相談をはじめ グローバル教育環境のさらなる充実

留学に関する相談窓口として「国際交流センター」を開設しています。国際交流委員会の委員の先生方が交替で学生の相談にあたり、豊富な留学経験に基づいて学生一人一人の希望や将来を見据えた指導を親身になって行っています。留学に少しでも興味があったら、まずは一度相談に来てください。

また今年度から、海外からの留学生のための「日本語講座」(日本大学本部管轄)が法学部で行われるようになりました。アメリカ、ヨーロッパ、アジアから数十名の交換留学生が学んでおり、神田三崎町キャンパスもより国際的な雰囲気になりました。学食などで留学生と話し、友達になれる環境は、外国へ行ったときに必ず役立つはずですよ。

さらに4月から、国際交流センターが5号館2階から「日本語講座」事務室のある7号館に移転します。これにより、国際交流センターを訪れる留学を希望する法学部生と海外からの交換留学生の交流がさらに深まることでしょう。

日本語講座

法学部の2、7号館で開講。多くの外国人留学生も日本語と日本文化を学んでいます。学生ボランティアも募集中。



アメリカの弁護士になって日本とアメリカの架け橋になりたいとの強い思いから、法学部卒業後アメリカのロースクールに進学。ニューヨークで弁護士として活躍した坂本教授。日本では外国の弁護士有資格者が日本での法曹活動を認められる外国法事務弁護士として法務省から承認。紛争解決の専門家から成る組織として世界的に認められている英国仲裁人協会から上級仲裁人(FCIArb)として認定。



現地に行って肌で感じる事が大切 自らの未来を切り拓く挑戦してほしい

法学部にはTOEFLの試験対策授業など充実の外国語科目があり、カリキュラムをうまく構築すれば目標スコアに届くはずですよ。そして、まずは海外研修旅行に行き、短期語学研修に参加して、交換留学を目指すという段階を踏むこともできる。その選択肢を増やすためにも留学先の新規開拓に力を注いでいます。

日本大学の理念は「自主創造」です。自分を築くという作業のひとつとして、大学での勉強でしっかりと日本を知り、外から日本を見て日本に期待されていることを考える。そしてとにかく現地に行ってみる。実際に肌で感じることで広がる何かがあるのです。外国語はあくまでもコミュニケーションツールです。日本との違いを知って、それを取り込みながら自分のものさしを増やし、自らの仕事と生活を切り拓く時代に挑戦してほしい。法学部の教職員一同、そのためのサポートは惜しみません。

Contents

【特集】留学のスズメ

— グローバルな人材育成のための日法の取り組み —

02 国際交流委員会委員長
坂本力也 教授

04 短期語学研修／派遣交換留学
外国語能力開発委員会委員長 栗原千里教授
国際交流委員会副委員長 江島泰子教授

06 法学部の外国語プログラム
国際交流委員会副委員長 真道杉准教授
語学分野の課外講座
海外研修旅行

08 法学部OBOGに聞く
片岡亮さん(サントリーホールディングス株式会社)
鬼丸莉奈さん(Tableau Japan 株式会社)
川原愛さん(全日本空輸株式会社)

10 【連載】
ゼミナール突撃訪問
経営法学科 中村進ゼミナール
法学部授業Close-up
公共政策学科 岩井義和准教授「行政広報研究」
法学部の就職力
学生研究室 第5回 行政科研究室

12 日本大学法学部
Event Schedule(2月~4月)

留学に詳しい先生方に
気軽に相談に行こう!

国際交流センター

5号館2階
2019年4月より7号館へ移転

留学に少し興味があって話だけ聞いてみたい……という段階で構わないので、できるだけ早く相談に行くことをおすすめします。留学するにはどんなスキルが必要か、語学の授業はこれを履修しておいたほうがいいのか、具体的な留学指針をしてくれます。また留学申請書類作成のアドバイスや、相談内容によってはさらに詳しい担当者を紹介することもできます。各種検定試験の資料も置いてあります。



専門の先生方が、交替で相談窓口に入る。英語圏、ヨーロッパ、アジアなど先生方の専門分野を記したスケジュール表が入口や教務課等の掲示板にも張り出されているので、あらかじめチェックして訪れるといい。

派遣交換留学

大学の代表として留学する1年間の交換留学
 厳しい選考試験を突破するために早めの準備を

日本大学(本部)および法学部の派遣交換留学先は世界14ヵ国1地域30大学。
 英語圏では北米のほかアジアや北欧の大学への選択肢も用意されています。
 学術交流協定により留学先の授業料が免除になるなどメリットもある一方、
 厳しい選考試験があるので、早めに準備を始めることが重要です。
 大学の留学サイトや国際交流センターなどで教員に相談するなどして情報を集め、
 留学先の目標を絞っていきましょう。法学部の教職員がしっかりバックアップします。

■派遣交換留学

プログラム区分	国・地域名	派遣先大学名	申込期間	選考試験	留学期間
英語圏	アメリカ	①ワシントン州立大学	7月中旬～10月	11月初旬	8月または9月から約1年間
		②エリザベスタウン・カレッジ			
		③ウェスタンミシガン大学			
		④アラバマ大学バーミングハム			
		⑤セント州立大学			
		⑥ウェスト・アラバマ大学			
		⑦ハワイ大学マノア校			
		⑧トロント大学			
		⑨ナンヤン理工学大学			
		⑩香港教育大学			
	⑪ラッペンランタ大学				
	⑫ストックホルム大学				
	⑬オーフス大学				
⑭ピフrost大学					
⑮メイヌース大学					
⑯クレムス応用科学大学					
⑰北西スイス応用科学・芸術大学					
⑱ヨハネス・グーテンベルク大学					
⑲ベルリン自由大学					
⑳アヴィニョン大学					
ドイツ	ドイツ	⑲ヨハネス・グーテンベルク大学	12月初旬～1月中旬	1月下旬	10月から約1年間
フランス	フランス	⑳アヴィニョン大学	12月初旬～1月中旬	1月下旬	9月から約1年間
中国語圏	中国	㉑北京大学/㉒鄭州大学/㉓山東大学	12月初旬～1月中旬	1月下旬	8～9月から約1年間
	台湾	㉔国立台湾大学/㉕国立中興大学/㉖国立政治大学	12月初旬～1月中旬	1月下旬	9月から約1年間
韓国	韓国	㉗慶熙大学校/㉘延世大学校/㉙高麗大学校	5月中旬～6月初旬	6月中旬	2月から約1年間
ドイツ	ドイツ	㉚ヨハネス・グーテンベルク大学	12月初旬～1月下旬	2月上旬	10月から約1年間
フランス	フランス	㉛アヴィニョン大学	12月初旬～1月下旬	2月上旬	9月から約1年間
韓国	韓国	㉜新羅大学校	11月中旬～下旬	12月初旬	3月から約1年間

問い合わせ先 日本大学学務部国際交流課(全学部生対象) 法学部教務課(法学部生対象)

学術交流協定により 交換留学先の授業料は免除

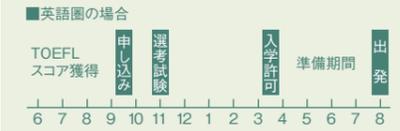
派遣交換留学は、提携校との協定により
 授業料は免除されます(語学コースは除く)。
 また、留学中も在学扱いとなり(ただし留学在
 籍料納入、半期6万円)、単位も条件に合えば
 一部認定されます。実費として住居費、生活
 費、テキスト代がかかります。

交換留学の申し込み時に、 TOEFL-ITP の高スコアが必要

申し込み時に英語圏ならTOEFL-ITP
 500～560、またはTOEFL-iBT 61以上が必
 要です(大学による)。独語・仏語はCEFR
 B1、中国語はHSK 6級を目標とします。
 日本大学本部では留学を目指す学生のため
 に年に数回、TOEFL-ITPテストを実施し
 ています(問い合わせ:日本大学学務部国際交流課)。

申し込みから出発までは約1年

申し込みまでにTOEFLスコアをクリアし、申
 し込みから選考試験→入学許可→出発まで
 約1年かかります。留学を希望する学生は早
 めに準備を始めましょう。



**説明会や留学体験発表会は
 必ず出席しましょう**

国際交流委員会副委員長
江島 泰子 教授
 担当授業はフランス語基礎文法、フランス語基礎表現、フランス語演習など。

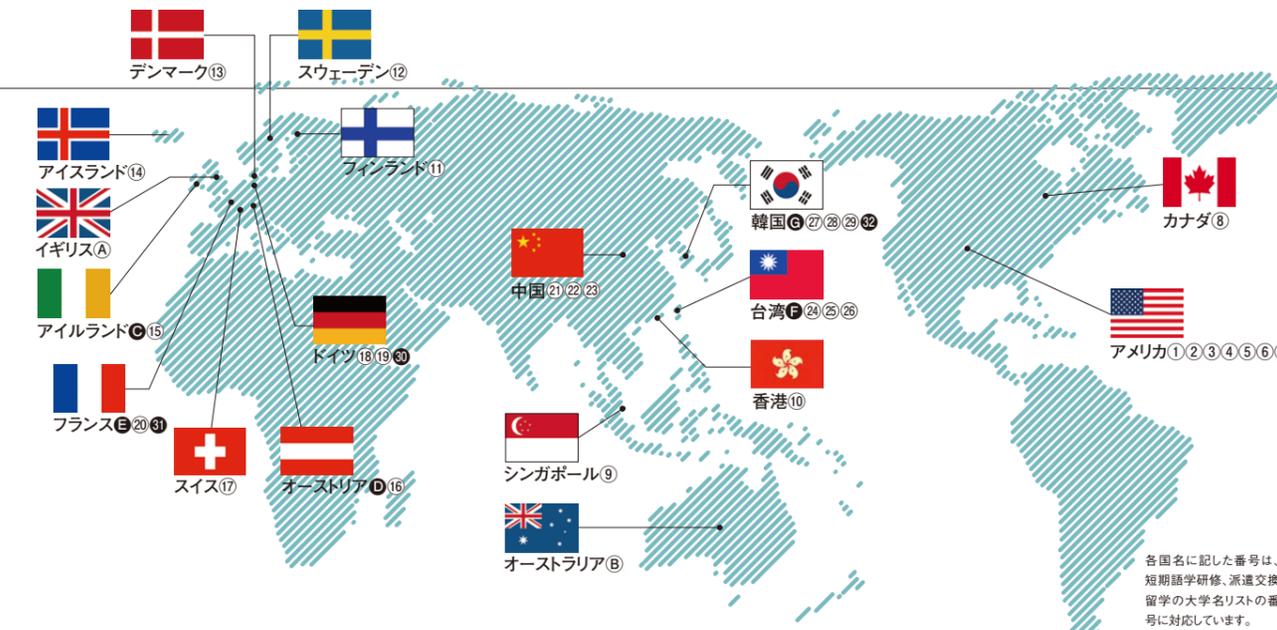
派遣交換留学は出発の1年以上前から
 の準備が必要です。日本大学本部や
 法学部の「留学・国際交流」サイトで情
 報を常に収集し、本部の交換留学説明
 会や法学部の先輩による留学体験発表
 会には必ず出席しましょう。
 法学部では正課の授業や課外講座
 で留学のためのカリキュラムを充実させ
 ています。本部の留学プログラムでも、法
 学部生が選ばれることが多いのでぜひ
 頑張ってください。
 語学力は自分の専門性をさらに高め
 る武器になります。卒業後、大手企業で
 活躍するOB・OGもたくさんいます。

**法学部の外国語教員が
 引率するので安心です**

外国語能力開発委員会委員長
栗原千里 教授
 担当授業は中国語基礎文法、中国語演習、国際研修(中)、中国語資格試験対策。

短期語学研修は1年生や2年生の参
 加が多く、会話ができないと何かと不安
 だと思いますが、法学部の外国語教員
 が引率し、期間中滞在するので安心で
 す。短期間でも現地でも生活し、現地の文
 化に触れ、多国籍の学生と交流するこ
 とは貴重な経験となるはずですよ。

中国科技大学・語学研修の歴史文化見学では、教員の
 引率で中正記念堂や孔子廟、陽明山なども訪問する。



各国名に記した番号は、
 短期語学研修、派遣交換
 留学の大学名リストの番
 号に対応しています。

短期語学研修

夏休み、春休みを利用した3～5週間の
 海外短期語学研修で語学力をスキルアップ

大学の授業に支障のない夏期、春期に海外で語学を学ぶ短期語学研修。
 法学部では独自に英語、ドイツ語など5プログラムを用意しています。
 留学生向けの多国籍クラスに参加し、世界中の学生と一緒に勉強する
 プログラムもあり、語学力と共に世界的視野を磨くことにもつながります。
 また、語学研修に参加し、試験に合格することで、「国際研修」として2単位を修得できます。
 まずは短期語学研修に参加して、長期留学へのステップアップを目指しましょう。

■短期語学研修

プログラム	国名	研修先	申込期間	実施期間
英語圏	イギリス	㉑ケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジ サマースクール	10月～12月初旬(選考試験12月中旬)	夏期3～4週間
	オーストラリア	㉒ボンド大学カレッジ スプリングスクール	7月～10月初旬(選考試験10月中旬)	春期5週間
	アイルランド	㉓ダブリンシティ大学 夏期語学研修	4月～5月	夏期4週間
ドイツ語	オーストリア	㉔ウィーン大学 夏期語学研修	12～1月(選考試験2月)、4月	夏期4週間
フランス語	フランス	㉕アヴィニョン大学 春期語学研修	9月～10月	春期4週間
中国語	台湾	㉖中国科技大学 春期語学研修	9月～10月	春期4週間
韓国語	韓国	㉗新羅大学校 夏期語学研修	4月～5月	夏期3週間

問い合わせ先 日本大学学務部国際交流課(全学部生対象) 法学部教務課(法学部生対象)

ダブリンシティ大学 (アイルランド)

英語を公用語とするアイルランドの首
 都ダブリンにある。都心にほど近い近代的
 なキャンパスで、自然豊かで治安も良い。
 多国籍クラスなので多様なバックグラウン
 ドを持った友人ができる。ダブリン市民は
 皆明るくて親切なのでホームステイも安
 心だ。スポーツやダンス、裁判所見学など
 現地文化研修もバラエティに富む。

ウィーン大学 (オーストリア)

1365年創立のドイツ語圏を代表する大
 学。外国人対象の夏期語学研修は約100
 年の歴史を誇り、世界中から学生が集ま
 ってくる。現地のレベル分けテストにより、
 CEFRに従った少人数のインターナシヨ
 ナルクラスでドイツ語を学ぶ。午後にはウィ
 ーンの歴史を体感する文化研修も用意され
 る。宿泊先はウィーン市内の学生寮。

アヴィニョン大学 (フランス)

南仏プロヴァンスのアヴィニョンは中世
 の歴史的建物が並ぶ美しい街。大学自体
 も中世の由緒ある建物を利用して作られ
 ている。文化研修として市内見学やパン
 屋でのバケット作り、小学校での折り紙指
 導などが恒例だ。約3週間のフランス語研
 修の後、パリに移動して市内研修も行う。
 交換留学の派遣先大学でもある。

中国科技大学 (台湾)

台湾の大都市・台北の郊外にある大
 学。会話練習、作文練習、文章読解など
 の「中国語授業」をはじめ、中国拳法や中
 国茶道などの「文化講座」、台北市内の
 名所・旧跡を見学して台湾の歴史・文化
 を学習する「歴史文化見学」の3部により
 構成され、言語・文化・歴史を幅広く学
 べる内容となっている。宿泊先は学生宿舎。

語学分野の課外講座

TOEFLのスコア向上や語学検定対策など 留学を目指す学生を多彩な講座でバックアップ

法学部では正課の外国語授業に加え、TOEFLのスコア向上や語学検定対策、留学・海外語学研修に参加する学生のための会話能力向上講座など、学生それぞれのニーズに合わせた多彩な課外講座を開講しています。いずれも少人数制の1時間半の講座で、料金は10回講座で6,000円程度。学内の講堂で、質の高い講座を手頃な料金で受講することができます。

■【受講料】開講10回講座 6,000円、開講5回講座 3,000円 問い合わせ：教務課

講座名	目的・内容	開講期間・回数
英検・IELTS集中課外講座 (一次試験対策)	英検1級・準1級・2級合格を目指すための試験直前集中講座。スピーキング、リスニング、ライティング、リーディング、すべてのテストおよび解説を行う。	6月/5回、 10月/5回
英検・IELTS集中課外講座 (面接・プレゼンテーション対策)	英検1級・準1級・2級の二次試験や交換留学の面接試験を受ける学生のために、英語面接のトレーニング、プレゼンテーション・スキルの向上を図る。	7月/5回、 11月/5回
TOEFL課外講座	英語圏への留学を希望する学生など、TOEFLのスコア・アップを目指すための講座。TOEFLに精通した講師が、リスニング、文構造、単語、リーディング等の講義を行う。	5月～7月/10回、 10月～12月/10回
TOEIC集中課外講座	TOEIC科目を受講している学生、就職にTOEICのスコアを生かしたい学生のためのTOEIC IPテスト直前講座。リスニング・リーディングのスコア向上を図る。	6月/5回、 11月/5回
ライティング課外講座	英語での発表・留学をする学生に対して、学術論文の書き方を指導する講座。英語を母語とする講師による講義と、正課授業では実施が難しい個人指導を行う。	5月～7月/10回、 10月～12月/10回
やさしい英語ディスカッション講座	今後英語圏への留学を考えている学生、英語ディスカッション能力の涵養を目指す学生のための講座。英語を母語とする講師によりディスカッション能力の向上を図る。	5月～7月/10回、 10月～12月/10回
留学・海外研修のためのドイツ語講座	ドイツ語圏の大学への留学、短期語学研修を希望する学生やドイツ語検定受験者向け。ドイツ語を母語とする講師により留学に必要なコミュニケーション能力の向上を図る。	5月～7月/10回
ドイツ語検定試験対策講座	冬季ドイツ語検定3級・2級受験者を主に対象とした計5回の短期集中講座。過去2年間に出現された問題を解きながら傾向と対策を把握する。	11月/5回
ドイツ語集中課外講座	海外語学研修を希望する学生や、一般学生のドイツ語運用能力の涵養を目指す。ドイツ語を母語とする講師により、留学に必要なコミュニケーション能力の向上を図る。	3月/10回
留学・海外研修のためのフランス語講座	アヴィニオン大学短期語学研修の参加を希望する学生やフランス語検定受験者向け。フランス語を母語とする講師により留学に必要なコミュニケーション能力の向上を図る。	11月～12月/5回
留学・海外研修のための中国語講座	中国科技大学短期語学研修、北京大学、鄭州大学、山東大学へ留学を希望する学生や中国語検定受験者向けの講座。留学に必要なコミュニケーション能力の向上を図る。	11月～12月/5回

短期集中英語研修

国内の日本大学厚生施設にて実施する10日間の合宿形式の研修です。少人数制クラスで、コミュニケーション能力の養成、リスニング、会話、ディスカッションなどの講座を行います。合宿でじっくりと英語に取り組みます。

研修期間：3月上旬～中旬
研修場所：日本大学の厚生施設
参加費：50,000円 ※2017年度の場合
問い合わせ：教務課

留学を目指す学生をしっかりとサポート！ 法学部の外国語プログラム

外国語カリキュラム

「言語を学ぶ」から「言語で学ぶ」へ 外国語でのコミュニケーション能力を養成

大学で学んだ専門的知識を基盤に、真の国際人として社会に羽ばたいてほしい。法学部では各言語で資格試験（TOEFL、TOEIC、英検、独検、仏検、中検）を実施。資格試験の対策や、海外での語学研修、長期留学に手厚いサポートをするとともに、外国語でのコミュニケーション能力を高める様々な取り組みを行っています。

法学部の外国語科目は、留学や就職など一人一人の目標に合わせた多彩な科目が設置され、自ら計画を立てて履修できるようになっています。また、必修の英語に加え、ドイツ語・フランス語・中国語が選択必修となっているのも法学部の伝統です。近年では国際標準CEFRの導入も意識され、さらなるグローバル人材育成を目指します。

CEFR(セファール)とは？

CEFRとは、外国語の運用能力を同一の基準で測ることができる国際標準。その言語を使って「何ができるか」が、A1、A2、B1、B2、C1、C2の6段階で示され、世界中で広く活用されています。日本でも注目され、今後ますます大学の外国語教育でも利用されていくことが予想されます。

■法学部の外国語科目

区分	言語	授業科目
必修	英語	英語A～H 英語演習A～H 英検/IELTS IA～IVB TOEFL IA～IVB TOEIC IA～IVB Listening & Speaking IA～IVB Reading IA～IVB Writing IA～IVB 国際研修IA・IB、II～VII
選択必修	ドイツ語 フランス語 中国語	※各言語共通 基礎表現A・B 基礎文法A・B 演習A～H 資格試験対策IA～IVB 国際研修IA・IB、II～VII スピーキング・リスニングIA～III B リーディング・ライティングIA～II B
随意	スペイン語 韓国語 ロシア語	※各言語共通 (西)(韓)(露) IA～IVB 国際研修IA・IB、II・III

選択必修の独・仏・中も 万全のサポート体制

グローバル化の進む現代においては、英語だけでなく、プラスαの語学力が要求されます。選択必修のドイツ語、フランス語、中国語は、大学に入ってから学ぶ初修外国語なので、まずは基礎からしっかり勉強してステップアップを図りましょう。独検、仏検、中検の資格試験対策、留学や語学研修のサポートなど、学部をあげてバックアップしています。また、独・仏・中では、近年注目されているCEFRのレベル別教科書やアクティブラーニングなどもいち早く取り入れています。

留学や語学研修に参加する 学生に役立つ「国際研修」

正課授業の「国際研修」IA・IB(英語はIIA・IIBも)は、日本大学本部および法学部の1年間の交換留学や短期語学研修(p4・5参照)に参加する学生にも役立つ科目です。各言語のコミュニケーション能力の向上はもちろん、文化や歴史、生活など海外生活で実際に役立つ様々なスキルも教えてくれます。国際研修II(英語はIII)以降は、短期語学研修に参加した学生の現地での成績が合格レベルに達した場合、2単位が認定されるものです。

TOEFL、TOEICなど 資格試験対策が充実

英語圏への留学に必須要件となるTOEFLのスコア。法学部では正課の授業にTOEFLの試験対策クラスを設置しています。初級Iから上級IVの4つのレベルがあるので、勉強を続けることでハイスコアを目指しましょう。また、今や就活に欠かせないTOEICや英検も正課の授業に試験対策クラスを設置。1年生の12月にTOEIC-IPの全員受験、OB・OGによるTOEIC講演会なども行っています。それぞれ課外講座でも集中講座を実施しているので、併せて利用しましょう(p7参照)。

海外研修旅行

現地の大学訪問や大学生との交流会など 法学部生のためのヨーロッパ体感ツアー

法学部では毎年春休みにヨーロッパへの海外研修旅行を実施しています。ヨーロッパの主要4カ国(ドイツ・オーストリア・イタリア・フランス)を約2週間にわたって巡り、世界遺産などの見学はもちろん、現地の大学訪問や現地大学生との交流会、企業の現地駐在員からのレクチャーなど、法学部ならではの様々なプログラムが盛り込まれています。法学部教職員が同行します。

■詳細は学生課までお問い合わせください。



ツアーパンフレットは学生課で配布します。



ドイツ・マインツでは交換留学先でもあるヨハネス・グーテンベルク大学を訪問



アヴィニオン大学での交流会



スペイン広場やトレビの泉を散策



CEFRを反映させた ドイツ語授業を展開

国際交流委員会副委員長
真道 杉 准教授
担当授業はドイツ語基礎文法、ドイツ語演習、ドイツ語資格試験対策など。

留学を希望する学生を様々なかたちでサポートしています。演習BではCEFRの教科書を使ったアクティブラーニングを実施しています。また、正課の授業以外にも自主講座を開催し、交換留学を目指す学生や帰国学生によるハイレベルなドイツ語ディスカッションを行っています。



アクティブラーニングはCEFRを取り入れた行動型の授業。ウィーン大学の語学研修参加者も多く履修する。

留学経験を活かして社会で活躍する

法学部OB・OGに聞きました!



全日本空輸株式会社
川原 愛さん
経営法学科 2015年度卒業

【留学先】 私費留学
TALK international
2年次修了後1年間 (ボストン校)



Tableau Japan 株式会社
鬼丸 莉奈さん
法律学科 2014年9月卒業

【留学先】 日本大学交換留学
ウェスタンミシガン大学
4年次8月から1年間



サントリーホールディングス
株式会社
片岡 亮さん
新聞学科 2017年9月卒業

【留学先】 日本大学交換留学
トロント大学
3年次9月から1年間

→大学の校舎の前で。大学のあるミシガン州カラマズーは冬場はかなりの雪が積もることも。



←大学ではスキューバダイビングのクラスも受講し、帰国前にライセンスを取得。



→本社での新入社員研修より、Tableauはスタンフォード大学研究所から誕生したIT企業。あらゆるデータを高速に可視化し、質の高い意思決定に導くソフトウェアを開発・販売している。



学する国際色豊かな大学だったので、様々な国の友人ができたのはとても貴重な機会でした。授業は主に日本大学では受講ができない海洋生物学などの科学系を取りました。柔軟に好きな教科を受講できるのも、交換留学の良さのひとつだと思います。

後輩たちにメッセージを

学生のうちに留学のチャンスを掴むことをおすすめします。今後のキャリアやプライベートでの選択の幅が広がるので、人生において長期的メリットを感じることができると思います。諦めずに目標に向かって頑張ってください。

現在の仕事内容を教えてください

全日空の客室乗務員として国内線と国際線の両方に乗務しています。国内線国際線共に外国籍のお客様が多く、コミュニケーションを取る際は英語が必要不可欠であり、スムーズかつ的確に意思疎通を図れるのは留学経験が活かしているからだと感じます。

留学を決めた理由と準備について

付属校出身のため、常に周囲に助けられる友人がいて、1人で何かを達成した事がないと感じていました。だからこそ新しい環境に行き、その中で語学習得と国際的視野を広げたいという思いがあり留学を決めました。

大学留学か語学留学かを含め情報収集を留学1年前頃から開始しました。語学留学に決めたのは語学力と国際的視野が第一の目的だったから。ボストン校を選んだのは学生の街で比較的治安も良かったからです。

留学先での生活、留学で得たこと

アメリカ人の家庭でホームステイしました。語学学校の他にも公共の図書館で開催される勉強会などに参加し、ネイティブスピーカーと関

わる機会を増やしました。また、ホストファミリーからユダヤ教とキリスト教の文化の違いなどを直に体感することもできました。

留学で得たことは目標達成に向け自ら考え行動し、地道に努力する姿勢の大切さです。私費留学なので1年休学して卒業も1年遅れましたが、就職活動に留学経験が活かされました。

後輩たちにメッセージを

留学は語学習得だけでなく、様々なバックグラウンドを持った人々との出会いや、様々な経験、そして発見がある貴重な機会です。ぜひチャレンジして頂きたいなと思います。

→セントパトリックデーのお祭りで友人や近所の人と。



↓語学学校の仲間と自分の国の料理を作って持ち寄るパーティ。川原さんは巻き寿司や卵焼きを作ったとか。



現在の仕事内容を教えてください

シアトル本社の米国IT企業、Tableauの商業営業部にソフトウェアを日本国内で販売する仕事をしています。世界各地にいる上司や同僚と働く上で、社内のコミュニケーションの一部と情報収集は英語なので、語学の面で留学経験が役に立っています。

留学を決めた理由と準備について

中学生の時に留学を意識しはじめ、高校で初めての海外を経験。異文化交流を通じて新しい価値観を吸収する楽しさを覚え、大学時代に留学経験をしようと決めました。

選考試験に向けて本格的に英語学習に専念したのは、大学2年の9月から翌年5月の9ヵ月間です。学習時間は平日で平均5時間、休日は8時間～10時間くらい。交換留学を目指すのであれば時間的投資は必要だと思います。さらに学外のTOEFL勉強会にも参加し、同じ志のメンバーたちと意識を高めました。

留学先での生活、留学で得たこと

大学の学生寮で現地の子とルームシェアをしていました。同時期に留学生が1,000人も入

する環境が変わったことで、出会う人が変わり、まだ見ぬ世界を教えてくれる。1年就活が遅れた私にとって、追いつくために努力しようと思えたのも彼らに出会えたからです。

後輩たちにメッセージを

英語を話せることはもはやアドバンテージにはなりません。英語を使って自分は何ができるかです。それを見つけるのは難しいですが、留学して日本と世界の違いを肌で感じ、なぜ違うのか、なぜうまく伝わらないのかを考えるだけでも勉強になる。様々なバックグラウンドの人と出会い、自分の無限の可能性を探してください!

→トロント大学大学院の東アジア研究室に招かれ、大学院生とディスカッション。



↓トロント大学の社会人向けの日本語クラスでティーチングアシスタントも経験。



法学部の 就職力

就職指導課インフォメーション

公務員試験は早期からの継続的学習が必要
法学部の課外講座や支援行事を活用しよう

課外講座「公務員講座」

2019年度から「公務員講座」のコースが再編成。2年生向けの入門コースと、3年生向けに目指す職種にあわせた講座内容のコースが設定され、さらにパワーアップします。

公務員採用試験は人物重視の傾向が年々強まっています。特に地方公務員採用試験に顕著で、「まじめな人」より「自ら考え行動する人」、「チャレンジ精神のある人」を求めています。3年生向けコースでは、集団討論の練習や模擬個人面接等も実施し、合格だけではなく内定を目指す内容となっています。

法学部の「公務員講座」は有名予備校と提携した充実の講座を、学内で低料金で受講することができます。4月中旬に課外講座の説明会が行われますのでぜひ参加してください。

公務員講座の問い合わせ：エクステンションセンター(10号館2階)

■入門コース

対象：2年生 開講期間：5月～翌年3月

■地方上級・国家一般職コース

対象：3年生 開講期間：5月～翌年3月

■警察官・消防官コース

対象：3年生 開講期間：5月～翌年3月

「公務員」と言っても、その種類・職種は多岐にわたりますが、共通した魅力は住民や社会の利益に直結した仕事ができることです。その仕事内容は多種多様に存在するので、幅広いフィールドで仕事ができることも魅力のひとつです。

公務員になるためには筆記や論文試験対策などの継続的な学習が必要です。また、民間企業のほうが選考開始が早いので、民間企業志望者に影響されない気持ちも必要です。



↑公務員業務説明会(全学年対象、4月、7月、11月に開催)。各官公庁の人事担当者が採用情報や業務内容を説明。説明会後に個別相談も可能です。

おもな就職先(2017年度)

■国家公務員(総合職、一般職、専門職)

内閣府、総務省、厚生労働省、国土交通省、防衛省、法務省、会計検査院、国税庁、東京国税局、衆議院事務局、皇宮警察本部、など

■地方公務員(都道府県、政令指定都市、特別区、市町村)

神奈川県庁、埼玉県庁、横浜市役所、さいたま市役所、相模原市役所、世田谷区役所、杉並区役所、板橋区役所、葛飾区役所、町田市役所、市川市役所、など

■地方公務員(警察・消防)

警視庁、神奈川県警察本部、埼玉県警察本部、千葉県警察本部、東京消防庁、など

官・消防官コース」が該当します。有名予備校と同等の講座を学内で通常授業と並行して受講でき、学外で受講するより安価です。

講座以外にも内定者による「内定者相談会」や行政の人事担当者による「公務員業務説明会」で直接話を聴くことができます。他、「面接対策講座」や「自己分析自己PRガイド」などの受講、相談員によるアドバイスなども受けられます。

就活生の保護者の皆さまへ 今号のワンポイントアドバイス

公務員は高い意識が求められる時代です。住民や社会が抱える問題を見つけ、どのように取り組むのか、更には成果を出さなくてはなりません。保護者の方の公務員への理解の深さが、学生のサポートにつながります。

就職にも有利

学生研究室で資格取得を!

第5回 行政科研究室

国家公務員、地方公務員を目指す

「国家公務員総合職」や「国家公務員一般職」、「地方公務員(上級)」の採用試験合格を目標とした研究室です。

本研究室に在籍すると、公務員採用試験合格のために設置された基礎能力試験対策講座、講演会、答案練習会に参加できるほか、公務員試験合格者の報告会やOB・OG会などの行事で先輩から勉強方法や実際の仕事内容などを直接聴くことができます。さらに研究室に設置された自習室(固定席・自由席)で集中的に勉強できるほか、研究室所蔵の参考書、問題集なども自由に閲覧できます。同じ目標を持った仲間たちと切磋琢磨し、長期にわたる公務員試験勉強のモチベーションを維持できる環境が整っています。

万全の体制でサポート
6つの学生研究室

司法科研究室
司法書士科研究室
弁理士科研究室

税理士科研究室
行政科研究室
公認会計士科研究室

POINT 1 合宿やOB・OG会など 多彩な支援行事も開催

自習室、ロッカー、参考書の利用のほか、夏合宿やOB・OG会、さらに行政相談などボランティア活動の体験、入室式における先生方からの指導など多彩な行事で公務員への道をバックアップします。



各研究室への入室は、春の説明会と秋の入替試験(または受験面談)で受け付けます。入室料は、年間3千円です。入室試験や答練などの成績優秀者には、研究室内に専用の固定席が1年間貸与され、集中して勉強することができます(貸与基準は研究室ごとに異なります)。

●学生研究室に関する問い合わせ
司法科研究室事務室(5号館2階)
司法科研究室を除く5研究室はエクステンションセンター(10号館2階)



↓OB・OG会では現職公務員の先輩から現場の生の声や貴重な情報を入手できる。



↑夏合宿では集団討論・集団面接の練習や研究室担当教員による集中講義などを行う。

知的好奇心をさらに高める

ゼミナール突撃訪問

ここが役に立つ!

経営法学科 中村 進ゼミナール

Twitter: @susumuofficial



ゼミでは世界の判例研究を各個人が行い、研究内容を発表。各国の知識に加え、プレゼンテーション能力も身につく。留学を希望する学生が数多く在籍。

ゼミ生に聞きました!



政治経済学科3年 竹内社太さん

将来は企業の海外事業部に入りたかったので、国際私法を学んでいる中村ゼミナールを志望しました。海外で活躍するOB・OGの方々からアドバイスを聞くこともできます。



経営法学科3年 小森貴恵さん

フランスに長期留学をし、国際間の私的な問題に直面したことがきっかけで国際私法に興味を持ち、深く学びたいと思いました。先生はどんな相談にものってくれるお父さんのような存在です。

「国際私法」から世界へ!

「国際私法」は、国際的な契約や不法行為、結婚・離婚の問題のような国境を越えて発生する企業間や個人間の紛争について、どの国・地域の法律を適用し、解決を図るべきかを考える学問です。それと合わせて関連の深い国際取引法や国際民事訴訟法を学ぶのが中村ゼミです。外国語が好きで海外に興味がある学生が多いのが特徴で、毎年5名前後の学生が交換留学または私費留学で留学し、多くの卒業生が海外で活躍しています。「ゼミ内就職セミナー」にも力を入れていて、学生からは「就職に強いゼミ」と評価されています。卒業後、公務員となる卒業生も少なくないですが、メーカー、金融、航空などの日本のトップ企業や大手の外資系企業に職を得ている卒業生が非常に多いのも特徴です。

経営法学科 中村 進 教授

国際関係法(私法系)、国際ビジネスⅢ(国際私法)、ゼミナールを担当。専門は国際私法、国際取引法、国際法、著作権法。国際私法学会、国際商取引学会、著作権法学会ほか所属。



楽しくてタメになる

法学部授業Close-up

なるほど納得!

行政広報研究

公共政策学科 岩井義和 准教授



この日の授業は「行政広報の企画力の重要性」について。授業は板書形式で、学生たちはノートをとりながら先生の講義に集中。公共政策学科の多くの学生が履修している。

公共政策学科 岩井義和 准教授

行政学、行政広報論、行政広報研究、行政管理論、行政学、行政広報、ゼミナールなどを担当。専門は行政広報、行政学、行政管理。日本行政学会、日本地方自治研究学会ほか所属。



公共政策学科2年 田中伶奈さん

行政のあり方を「広報」の面から学びます。広報=情報発信ツールだと思っていましたが、広報にも様々な手段があると分かりました。



公共政策学科2年 齋藤咲希さん

先生の講義を受けてから地元の広報誌やHPを見ると、今までとは違う見方ができるようになり、新しい知識が身についたと実感します。